

おうちの図工室、美術室

100年前に伝えよう 私がドラえもん

対象学年 中学3年生～高校3年生

想定時間 最低2時間～

題材の内容（子どもたちへ語りかける言葉の例）

みなさん、漫画『ドラえもん』は知っていますよね。主人公のび太に未来の秘密道具をたくさん教えてくれます。さて、今日はあなたがドラえもんです。100年前にタイムスリップして、あなたのおじいさん、おばあさんがまだ子どもだったころに出会い、現代の自分たちが使っている便利な道具を「秘密道具」として伝えてください。もちろん「インターネット」や「GPS」なんて言葉はありませんよ。どうやって秘密道具を伝えますか？また『ドラえもん』は漫画です。セリフが長々とあると子供たちは読んでくれません。今回は絵と少しのセリフだけで、便利な道具を伝えてみましょう。どんな絵を描き、どんな説明をすれば現代の生活をイメージしてくれるでしょうか？

- 伝える対象は100年前の小学生とします。難しい表現は伝わりません。パッとみて魅力を感じ取れるような分かりやすくキャッチーな作品をお待ちしています。当時の生活がイメージしにくい人は「100年前 暮らし」などで検索し、調べてみるとよいでしょう。
- 説明する「秘密道具」は自由です。家電だけでなく薬や社会の仕組みなどでも結構です。100年前には想像もできなかった、当時の人があっと驚くモノやコトを伝えてください。どこが便利なのか、きちんと伝えるようにしましょう。
- 絵（イラストレーション）はどんな描画材料で表現しても構いません。伝わりやすさを意識してください。漫画風にしても、しなくても構いませんが、セリフ（文章）は極力少なくしてください。
- ドラえもんの立場に立って、説明する活動です。ドラえもんの画風や口調に合わせる必要はありません。わかりやすく伝えるために、じっくり考えてください。
- A4のコピー用紙1枚に収まるように表現してください。
- 提出は〇月〇日です。

ANCS としてのねらい

自己を深める

共感性

深く見つめる

社会への広まり

共感性

自分たちが当たり前前に利用している道具やシステムを、まったく知らない他者に伝える活動を通して、自分と背景が異なる他者の見方や感じ取り方の違いについて考えます。

社会への広まり

社会の変化を「秘密道具」を通して感じとり、今となっては当たり前となっている価値が、どのような構造で我々の生活の中に存在しているのかを考えます。

三観点

知識・技能

イラストレーションや単純化などの知識を用いて表現することができる。

思考・判断・表現

多くの人が予備知識なしに見て、構造や使い方、利便性を理解できるように工夫してわかりやすく伝わる表現をすることができる。

主体的に学習に取り組む態度

想像の世界を楽しみ、過去に向けて未来人として表現することを楽しもうとする。

おうちの図工室・美術室

活動の足あと・子どものことば

使用した材料・道具

コピー用紙、ボールペン、色鉛筆

何気なく
使っているもの
だけれども
実は…

便利さに
慣れて
しまっている

時代や年齢
によって
分かりやすい
は違っている

私は、さむい冬の日に、外で活動するときに「使い捨てカイロ」を背中に張っています。何気なく使っているものだけれども、約40年前に発売されたそうです。カイロは、石を焚火などで温め、布にくるんでポケットの中に入れて、体を温めていたことから始まりだそうです。当時の人のよりよく生きるための工夫を感じます。しかし、そのような生活をしている人からすると、火事の心配も少なく、安全性も高まった「使い捨てカイロ」をみると、きっと驚くだろうなと思い、「秘密道具」として4コマ漫画で紹介することにしました。いつの間にか当たり前になっているものを説明する中で、知らず知らずのうちになんとなく使っていて、便利さにもいつの間にか慣れてしまっている自分に気づきました。また、分かりやすく説明するという点でも時代や年齢によっても、分かりやすいという基準は違っていることに気づきました。



「 さむい冬の日 」